

長野県総合5か年計画（原案）のポイント

2022.12.26

1 基本目標「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」

○これからの県づくりに県民と共に取り組む新しい基本目標を提示

『確かな暮らしを守る』

新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的な状況を克服し、県民の命と暮らしを守る

『信州からゆたかな社会を創る』

社会・経済が成熟する中で、信州の強みや特色を十分に生かして、物質的にも精神的にも満たされた、本当の意味でゆたかな社会を長野県が全国に先駆けて創っていく

○基本目標は、語尾を動的な表現とし、また、「信州から」とすることで、長野県が他県に先駆けてゆたかな社会を創っていくことを決意

○また、基本目標を実現するための「5つの政策の柱」を設定

持続可能で安定した暮らしを守る

創造的で強靱な産業の発展を支援する

快適でゆとりのある社会生活を創造する

誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

誰もが主体的に学ぶことができる社会をつくる

2 危機的状況を克服する計画

○新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的な状況の中で策定する計画

○こうした危機的状況下において、「確かな暮らしを守る」ため、基本目標をより具体化した目指すべき社会の方向性をビジョンとして提示

「確かな暮らしを守る」を具体化したビジョン

- ▶ 医療・検査体制の確保等により、新型コロナ禍であっても救える命が救われている
- ▶ 現下の物価高騰を克服し、コロナ禍等で停滞した社会経済活動が再生・活性化している
- ▶ 省エネルギーや再生可能エネルギーの普及が進み、脱炭素社会に近づいている
- ▶ ハード・ソフトの両面から災害への備えが強化されている
- ▶ 出生数の減少傾向に歯止めがかかり、移住者やつながり人口が増加している
- ▶ 地域社会に不可欠な医療・福祉、農林業、交通・建設業等の担い手が確保されている
- ▶ 水道や交通などの公共インフラが安定的に維持・運営されている

3 現状を打破し真にゆたかな社会を創造する計画

○働き方や格差・貧困など現状の課題を打破し、真にゆたかな社会を創出する計画

○「ゆたかな社会を創る」ため、基本目標をより具体化した目指すべき社会の方向性をビジョンとして提示

「ゆたかな社会を創る」を具体化したビジョン

- ▶ 産業の生産性向上・働き方改革により、県民の所得が向上し多様な働き方が実現している
- ▶ デジタル技術の活用により、公共サービスや事業活動の利便性や効率性が向上している
- ▶ 結婚・子育て、教育など子ども・若者や女性の幸福追求が最大限保障されている
- ▶ 性別、障がい、所得等による差別・格差の解消が進み、誰にでも居場所と出番がある
- ▶ 高校改革、高等教育・リカレント教育の振興等により、学びの県づくりが進んでいる
- ▶ 医療機関の機能分担と連携が進み、介護サービスが質・量ともに充実している
- ▶ 健康に生活できる期間が長くなり、多くの高齢者が現役で活躍している
- ▶ 観光地域づくりやまちの緑化などが進み、快適でうおいのある空間が増加している
- ▶ 農山村や過疎地域等が人をひきつけ、人間的な暮らしの最先端地域になっている
- ▶ 文化・芸術やスポーツに身近で親しむことができ、暮らしにゆとりをもたらしている

4 社会を変革するプロジェクト「新時代創造プロジェクト」を提示

- 様々な危機が複合的に押し寄せている現下の難局を乗り越え、新しい時代に向けて、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を特に進めていく必要がある政策をピックアップし、「新時代創造プロジェクト」として、分野横断的に取り組む
- 現段階では、「新時代創造プロジェクト」の方向性を示しているが、今後、「リーディングアクション」の例を示す予定
- 「リーディングアクション」は、計画期間における状況の変化等に応じて、適宜改廃・追加等を行う

〔8つの新時代創造プロジェクト〕

女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト	男女の固定的性別役割分担意識の解消や、仕事と子育ての両立支援などにより、安心して出産・子育てができ、女性が働き、暮らしやすい社会へ転換
ゼロカーボン加速化プロジェクト	エネルギー自立地域づくり、地域と調和した再生可能エネルギー導入加速化、高断熱住宅等の更なる普及などにより、ゼロカーボン社会へ転換
デジタル・最先端技術活用社会実現プロジェクト	IT 企業・人材の集積、最先端技術の導入・活用等により、生産性の高い産業構造への転換やどこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会へ転換
個別最適な学びへの転換プロジェクト	ICT の利活用や産学官連携などにより、児童生徒一人ひとりの個別最適な学びを実現し、グローバルな視野で新しい価値等を創造する若者を育成・輩出
人口減少下における人材確保プロジェクト	働き方改革の浸透、多様な人材の活躍等により担い手不足が解消するとともに、学び直し等により一人ひとりが希望する働き方を実現できる社会へ転換
グローバル経済システム再構築プロジェクト	企業の海外展開支援や成長産業への参入支援、インバウンド需要の取り込み等により、地域外から獲得した利益が地域内で循環する社会へ転換
県内移動の利便性向上プロジェクト	行政の主体的関与により、将来にわたり必要な地域公共交通を確保するとともに、県内を円滑に移動できる環境を整備
輝く農山村地域創造プロジェクト	農山村地域の課題や条件不利性の克服、ブランド力の向上を通じて、新しい生き方や暮らし方、価値が生み出されるキラリと輝く地域を創造

5 県民と共に取り組むいわば共創型の計画

- 「信州これから会議」や「県内大学生からの施策提言」など多様な県民の意見や、少子化・人口減少対策に関する有識者の講演を生かした答申を踏まえ、計画の策定段階から実行段階に至るまで、県民と共に取組を推進

＜共創の仕組みの例＞

各部局：企業・団体との包括連携協定

環境部：ゼロカーボン社会共創プラットフォーム（くらしふと信州）

県民文化部：共創推進パートナー、共創ラボ など

6 AI シミュレーションの結果を反映

- 2029 年に向けて優先的に取り組む必要があるとされた 3 分野「若者」、「環境」、「公共交通」を新時代創造プロジェクト等に反映